

年 組 名前 :

看板で地域の名所紹介

富士川 増穂南小児童が作製



富士川・増穂南小の6年生5人は9日、学校がある富士川町穂積地区にある名所の看板作りを行った。訪れた人たちに、地区に残る伝承や昔話に触れてもらおうと作製した。

看板は縦35センチ、横45センチのトタンで、「いほ石」や「お天子さん」といった、伝承ゆかりの地のほか、子どもたちが新たに発見した「人面岩 モアイ」など計5枚。11日に現地に設置した。

7月の総合的な学習の時間で現地を巡った際、看板がな

く見過ごされやすいことから、案内を務めた地域の歴史に詳しい同町の深沢和彦さん

ら、案内を務めた地域の歴史に詳しい同町の深沢和彦さん

下書き通りシールを切り抜き、看板に貼る児童
 〓富士川・増穂南小

(68)に看板設置を提案。深沢さんが、看板やシールを準備し、子どもたちは下書きに沿って看板用のシールを切り抜き、看板に貼り付ける作業を担当した。看板は20〜30年先も残るように丈夫なつくりにした。

井上肇人君は「貼るのが難しかったが、達成感がある。自分が作った看板で地域が盛り上がるとうれしい」と感想を話した。深沢さんは「子どもたちが大人になったとき、子どもを連れて見に来てもらえれば幸せ」と話している。

(2020年9月16日付 山梨日日新聞 20面)

問1

増穂南小がある富士川町穂積地区にある名所の看板を作った目的は何ですか。

問2

設置した5枚の看板は、地域の伝承などですが、どんな名所ですか。3つ書いてください。

①「 _____ 」 ②「 _____ 」 ③「 _____ 」

問3

あなたが通う小学校の地域にある名所を一つ挙げ、どんな所か説明してください。

.....

.....

.....